

令和7年度第1回 東京都在宅介護・医療協働推進部会主なご意見まとめ

● 令和7年7月7日（月曜日）開催

● 議題

- (1) 令和7年度在宅介護・医療協働推進部会の設置について
- (2) 令和6年度訪問看護推進総合事業等の実施状況について
- (3) 令和7年度訪問看護推進総合事業等の実施について
- (4) 令和6年度訪問看護の人材確保・定着等に関する調査報告概要について

(2) 令和6年度訪問看護推進総合事業等の実施状況について

<訪問看護人材確保事業>

- 会場開催だけでなく、YouTubeなどでの動画配信を検討してもよいのでは。

（対面で個別相談等ができるということを大事にしており、ハイブリット化は集客減少が懸念としてある。今年度は欠席者等に後日アーカイブ配信を検討中。）

<管理者の育成・支援>

- 管理者のフォローアップセミナーなども需要があるのでは。
- 65歳を過ぎたベテラン訪問看護師が、登録制で急遽穴があいたところを単発で訪問してくれるような仕組みがあれば、管理者にとっては有難いと思う。

<介護と医療の連携>

- 看護と介護の連携について、見える化し、次年度の事業化以降に向けた検討材料にするとよいのでは。

<その他>

- 土日の夜間、休日の人の確保が大変。時給を上げる、若い看護師が安心して当番ができる体制づくりなど、課題を共有し、検討・情報交換ができる場があるとよいのでは。

(4) 令和6年度訪問看護の人材確保・定着等に関する調査報告概要について

<新任訪問看護師育成支援事業の補助要件について>

- 過去同補助金の交付実績がないといったところ、常勤換算7未満のステーションに限る、管理者又は指導者の訪問看護経験が5年以上という点などがハードルが高いのではないか。

<教育ステーションの空白地域について>

- 2、3のステーションが協働して教育ステーションを作ることはいかがか。
- 教育ステーションの空白地帯は、人口減少・高齢者人口の減少局面に入っているため、訪問看護の質の担保の方法が、今と同じでよいのか工夫が必要。
- 教育ステーション事業のアンケート結果や成果を部会で共有できるとよいのでは。
- 教育ステーションが一堂に会して話し合いができる場があるとよいと思う。